

ひだまり



養父神社や氷ノ山の紅葉を満喫した秋も終わりを迎え、木枯らしの冷たさが身にしみる冬の季節にはいりますね。今年こそは、天空の城「竹田城跡」の雲海を見に行きたいと思っている今日この頃です。

さて、今回もがん患者さんとそのご家族が困ったな…と思われたときにヒントとなるようなお話を考えてみました。



※実在の患者さんではありません

患者の願いを叶えられない辛さをかかえる家族のお話

緩和ケア病棟入院中のAさんの奥さんは、自宅へ退院したいとAさんに話しました。

家に帰りたい？
老夫婦で2人暮らしだし…？
わしに、ご飯のしたくは出来るか？
近くに頼れる者もおらんしなあ…

先が長くない、ばあさんの願いを叶えてやれないとは…
わしはなんて薄情なやつだ…。



Aさん
(患者さんの夫)
85歳



家に帰りたいなあ…

Aさんの暗い表情に気づいたB看護師は、Aさんに声をかけました。

Aさん、何か心配なことでもありますか？



B看護師

実は、ばあさんが家に帰りたということです。
わしは持病もあって自分のことで精一杯で、食事の用意も看病もできそうにない。容態が悪くなった時のことを考えると怖いです。

自宅での看病に不安を感じておられるんですね。



そうなんだ。それに容態が悪くなった時にどうしたらいいのか…怖い…。

そうですね。怖いんですね。みなさん、怖いっていわれますよ。



そうなんか。わしだけじゃ、なかったんだ。安心した。ばあさんには苦労をかけたで、最後の願いは叶えてやりたいが…できん自分が情けなくて泣けてくる。

色々悩まれて、ご主人も辛かったですね。奥さんの願いを叶える方法は退院だけじゃないかも…よかったら一緒に考えさせてください。



話を聞いてもらえて、少し楽になりました。近くに相談できる者もおらんし、また、相談させていただきます。

患者さんが入院されると、ご家族も辛いですね。ご家族の辛さが少しでも和らぐよう、また、ご家族の希望を叶えられるように、ご家族も支えます。

季節の行事

遺族会

毎年、秋に遺族会をしていりましたが、今年はコロナの感染予防対策のため残念ですが中止とし、手紙を郵送させていただきました。

緩和ケア病棟での思い出話をしたり、ご遺族の皆さんの新しい生活の様子を聞かせていただこうと、スタッフ全員楽しみにしていたのでとても残念です。来年こそは、お逢い出来ることを願っています。



編集後記 コロナワクチンだけでなく、インフルエンザの予防接種も終了しましたが、みなさんはいかがですか？ 手洗いうがいで感染予防をしっかりとこない、みんなで楽しいお正月を迎えたいですね。（編集委員）